



知っておきたいワクチン情報

ワクチンで防げる病気があります。ワクチンによっては自分だけでなく、家族など周りの人の健康を守ることもつながります。 **問い合わせ** いきいき健康課(すこやかセンター内) ☎21・8118

麻しん・風しんを 予防しましょう

昭和37～53年度生まれの男性には風しんの抗体検査
及び予防接種の無料クーポン券を送付します

麻しん・風しんは感染力が強く、感染した人のせきやくしゃみを吸い込んで感染します。

妊娠中に麻しんに感染すると早産や流産のリスクが高くなるほか、妊娠初期に風しんに感染すると、生まれる赤ちゃんが先天性風しん症候群(先天性心疾患、白内障、難聴など)を発症することがあります。

●風しん抗体検査・風しんの定期予防接種

抗体保有率が他の世代に比べて低い世代を対象に、無料で風しんの抗体検査と予防接種を実施しています。

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで、これまでに抗体検査や予防接種を受けていない男性

内容 無料クーポン券を送付します。令和5年3月31日までに受けましょう。



●任意風しん予防接種費用の助成

上記の対象以外で風しん抗体検査の結果、抗体価が市の基準に該当した人に、MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)または風しんワクチンの費用を助成します。

詳しくは、いきいき健康課(すこやかセンター内)までお問い合わせください。

けい 子宮頸がんワクチン (HPVワクチン)の接種を 逃した人の接種が無料に

子宮頸がんワクチンは、国の方針で平成25年以降、個別通知を差し控えていました。

その後、ワクチンの有効性や安全性・副反応などについて検討され、ワクチンの安全性が確認されました。



対象 個別通知を差し控えた間に対象年齢(小学6年生～高校1年生)を超え、接種の機会を逃した女性(平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ)

接種可能な時期 4月～令和7年3月31日まで

接種方法 5月初旬に市から接種券兼予診票を送付します。届いたら指定医療機関へ予約し、予診票を持参の上、接種してください。

接種費用の償還払い

左記対象のうち、定期接種の対象年齢を過ぎて(高校2年相当以降)子宮頸がんワクチン(サーバリックス®、ガーダシル®)を国内かつ自費で受けた人は、接種費用のうち規定の額の払い戻しを受けられます。

詳しくは、市ホームページをご確認ください。



子宮頸がんワクチンは、子宮頸がんの原因と考えられているHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を予防します。すでにHPVに感染していても、ワクチンで子宮頸がんの発症を予防する効果があることも分かっています。

なお、接種は強制ではありません。市ホームページなどをよく読み、ご家庭で話し合ってください。